



プレスリリース

報道関係者各位

メルコ・クラウン・エンターテインメント

**メルコ・クラウン・エンターテインメントが、
東京藝術大学に委託した「革新的芸術文化都市の計画に関する研究 AURA(アウラ)」
及び 東京藝術大学とのコラボレーションによる芸術文化振興への貢献活動
並びに 新しい CSR 構想「着物×きもの×KIMONO」を発表**

(日本), 2014年4月9日- アジアにおける総合リゾート開発・運営会社のメルコ・クラウン・エンターテインメント(以下「MCE社」または「当社」)(SEHK:6883)(NASDAQ:MPEL)は、国立大学法人東京藝術大学(以下、東京藝大)とのコラボレーションプロジェクト「AURA」を発表致しました。AURAとは、革新的芸術文化都市(Alternative Urbanism Reorganized by Arts)の頭文字をとったもので、日本の芸術文化の発展と継承を目的としたプロジェクトです。その正式な開始を発表する場として、2014年4月8日に東京藝術大学 奏楽堂にて「AURA」の発表会、「AURA Prologue」が開催され、当日は当社 共同会長のローレンス・ホー 及び ジェームス・パッカーも出席致しました。

AURA は、新しい都市のあり方を探究するリサーチ、さまざまな社会貢献活動を実践するアクティビティ、の2部門から構成されています。これらが両輪となって有機的に連携し、活動の輪が広がるように研究プロジェクトを推進していきたいと考えております。リサーチでは美術、音楽をはじめ舞台、映像、言語、空間など多岐にわたる表現分野を横断的かつ包括的に捉え、芸術文化が骨格となって形成される都市のあり方や可能性を探求することを目的としています。また、アクティビティでは、東京藝大とのコラボレーションにより、日本、そしてアジアの芸術文化の継承と発展に貢献する様々な活動を行ってまいります。

当社は、香港証券取引所および米国ナスダックに上場し、米経済誌フォーブス(アジア版)の「アジア太平洋地域の株式公開企業ベスト50社」(Asia's Fab 50)に選定される等、これまでも多くの名誉ある賞を受賞してきました。MCE社 及び 親会社はこれまでオーストラリア、マカオ、フィリピン、ロシア及び欧州をはじめとし、その他のアジア地域へ進出すると共に、それぞれの文化的多様性を尊重しながら総合リゾート開発・運営事業を推進してまいりました。

当社の共同会長 兼 CEO であるローレンス・ホーは、かねてより日本に感銘を受けており、これまでもMCE社は日本において様々な文化的、教育的活動を支援してまいりました。

メルコ・クラウン・エンターテインメント共同会長 兼 CEO ローレンス・ホーは、「日本は世界的にも認められている文化を重んじる国であり、私も日本の美しい文化に大変感銘を受けております。この度は、素晴

らしい日本の芸術文化の継承と発展に協力できる機会を与えて下さった東京藝術大学に大変感謝しております。当社はこれからも、価値ある活動を展開していきたいと思っております。」とコメントをいたしました。

なお、同時に当社の日本における新しい CSR 活動として、日本の伝統文化の継承と発展に向けたプロジェクト「着物×きもの×KIMONO」の開始を発表致しました。

メルコ・クラウン・エンターテインメント副社長 人材 / CSR 担当 ケリー・アキコ・タカハシは「『着物×きもの×KIMONO』プロジェクトの目的は、着物文化の存続を支えることにあり、着物の歴史、伝統、そして美に対する正しい理解を未来に繋げていくことを目指してまいります。近年、着物の着用機会が減少していることは、特に着物生地産業において多大な影響を与えており、何世代にも渡り受け継がれてきた伝統技術が危機に直面しております。更には、着物と深いつながりを持つ日本文化そのものへの理解の薄れを招いているのです。本プロジェクトが、日本の伝統文化に対する支援に繋がり、日本の皆様が日本人であることへの喜びを感じて頂く一助になればと願っております。」とコメント致しました。

『着物×きもの×KIMONO』プロジェクトは、着物の歴史や伝統、ファッション性、生地等の要素と未来的要素の融合を目指します。

本プロジェクトは、近代の生活に適した形式を模索しながら、日本の伝統的な着物文化の維持およびそれに対する正しい理解を促してまいります。これにあたり、「make possible what they thought impossible (不可能を可能にする)」というテーマを掲げた当社のシリーズプログラム、「Dare to Dream」を開始致します。「Dare to Dream」は、個人の潜在能力を最大限に発揮させることを目指すもので、才能ある学生たちと各分野における世界的第一人者を繋げるプログラムです。

今回、日本における「Dare to Dream」では、着物生地を使用したファッション、アクセサリ、また他のグッズに関するデザイン・コンテストを実施致します。優勝者には、有名ファッションデザイナー コシノジュンコさんの元で、インターンシップに参加する権利が授与される予定です。

<メルコ・クラウン・エンターテインメントについて>



メルコ・クラウン・エンターテインメントは、香港証券取引所および米国ナスダックに上場するアジアにおける総合リゾート開発・運営会社です。現在、「アルティラ・マカオ」及びエンターテインメント総合リゾートのフラッグシップ施設「シティ・オブ・ドリームス」を運営しており、どちらも「フォーブス・トラベルガイド」でファイブ・スターを獲得しています。「シティ・オブ・ドリームス」には、世界最大級のスケールを誇るエンターテインメントショー「ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター」を上演しており、これまでに250万人以上の観客を動員しています。メルコ・クラウン・エンターテインメントは、「コーポレート・ガバナンス・アジア・アワード」や2013年度の米経済誌フォーブス(アジア版)の「アジア太平洋地域の株式公開企業ベスト50社」(Asia's Fab 50)に選定される等、これまでも多くの名誉ある賞を受賞してきました。

メルコ・クラウン・エンターテインメント 及び オーストラリアにおける大手観光・エンターテインメント会社の一つであるクラウン・リゾーツ(クラウン)は、オーストラリア、マカオ、フィリピン、ロシア及び欧州大陸での様々な地域において、それぞれの地元文化要素を創造的に資産へ取り入れることで独自の素晴らしい総合リゾートを創り上げることを実現してきました。



AURA プロジェクトの発表会(東京藝術大学の奏楽堂にて)
 イベント参加者:東京藝術大学 AURA プロジェクトの代表研究者である北川原温教授、岩田隆次特任教授、MCE 社共同会長ローレンス・ホー氏及びジェームス・パッカー氏



MCE 社の副社長 CSR 担当のケリー・アキコ・タカハシ氏による日本 CSR 活動「着物×きもの×KIMONO」および「Dare to Dream」の日本始動発表



AURA プロジェクトの発表会:ファッションデザイナー コシノジュンコ氏による講演。
 MCE 社は日本におけるシリーズプログラム「Dare to Dream」の開始を発表。優勝者には、コシノジュンコ氏の元で、インターンシップに参加する権利が授与される予定



AURA プロジェクト発表会の着物ショー・モデル

参考情報資料:

セーフハーバー条項

本リリース資料には、1995年米国私募証券訴訟改革法(the U.S. Private Securities Litigation Reform Act of 1995)のセーフハーバー(safe harbor)条項で定められている「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。書面によるか口頭によるかを問わず、当社が米国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission(SEC))に定期的に提出する報告書類、株主向けの年次報告書、プレスリリースその他の文書、および当社の取締役、役員、従業員が第三者に向けて話される発言内容にも、同様の「将来予想に関する記述」が含まれている場合があります。会社が信じていることや見込んでいることなど、過去の歴史的事実ではない内容はすべて「将来予想に関する記述」です。これらの「将来予想に関する記述」には、リスクや不確定要素を内在しており、多くのさまざまな要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」の内容と著しく異なる場合があります。これらの要因とは、(i) マカオやフィリピンでのゲーム市場及び訪問者の成長動向、(ii)資本市場や金融市場の変動、(iii)各地および全世界レベルでの経済状況、(iv)当社が見込んでいる成長戦略、(v)当社の経営状態や財務状態の結果生じる将来の事業の進展などが含まれますが、この限りではありません。「かもしれない」、「だろう」、「期待される」、「予定である」、「目指す」、「狙う」、「見込む」、「意向である」、「計画である」、「信じる」、「潜在的な」、「継続する」、「となる模様」といった記述やそれに類似する表現により「将来予想に関する記述」を特定できる場合があります。それらのリスク、不確定要素、変動要因その他に関するより詳細な情報は、当社がSECに提出する報告書類に記載されます。本リリース資料に記述されるすべての情報は、本リリースが発表される日付時点のものであり、適用される法令において必要とされる場合を除き、当社は、それらの情報の訂正や更新をする義務をいっさい負いません。

メルコ・クラウン・エンターテインメントについて

メルコ・クラウン・エンターテインメントは香港証券取引所(SEHK:6883)および米国ナスダック(NASDAQ:MPEL)に上場するアジアにおける総合リゾート開発・運営会社です。メルコ・クラウン・エンターテインメントは現在、マカオタイパ地区に位置するホテル、「アルティラ・マカオ」(<http://www.altiramacau.com>)および、マカオコタイ地区にある総合都市型エンターテインメント総合リゾートである「シティ・オブ・ドリームス」(<http://www.cityofdreamsmacau.com>)を運営しています。同時に、マカオ最大の電子ゲーム機を有しているモカクラブ(<http://www.mochaclubs.com>)を運営しています。また、マカオコタイ地区で、映画をテーマとした総合エンターテインメント施設の「スタジオ・シティ・プロジェクト」の開発計画を進めています。フィリピンでは、メルコ・クラウン(フィリピン)リゾート・コーポレーションの子会社、メルコ・クラウン・レジャー(フィリピン)コーポレーションがSMグループのベル・コーポレーションの協力の元、マニラにエンターテインメント総合リゾートの「シティ・オブ・ドリームス・マニラ」を開発および運営しています。メルコ・クラウン・エンターテインメントは、「コーポレート・ガバナンス・アジア・アワード」や2013年度の米経済誌フォーブス(アジア版)の「アジア太平洋地域の株式公開企業ベスト50社」(Asia's Fab 50)に選定される等、これまでも多くの名誉ある賞を受賞してきました。詳しいメルコ・クラウン・エンターテインメントの情報は www.melco-crown.comをご参照ください。

メルコ・クラウン・エンターテインメントは大株主であるメルコ・インターナショナル・ディベロップメント(メルコ)およびクラウン・リゾーツ(クラウン)により多大なサポートを受けています。メルコは香港証券取引所の上場会社で、メルコ・クラウン・エンターテインメントの共同会長 兼 CEOのローレンス・ホー氏に所有され運営されています。クラウンはオーストラリア証券取引所の上位50位の上場会社で、メルコ・クラウン・エンターテインメントの共同会長兼非業務執行取締役のジェームス・パッカー氏により運営されています。